



2026年1月16日  
株式会社大創産業

## 店舗敷地内に浸水センサを設置し、地域の浸水情報収集に貢献 **大創産業、国土交通省の「浸水センサ実証実験」に参加 DAISO 店舗に「自動販売機搭載型浸水センサ」初導入** ～2026年3月末までに46店舗への導入を予定～

株式会社大創産業（広島県東広島市 代表取締役社長：矢野靖二、以下「大創産業」）は、国土交通省が進める「ワンコイン浸水センサ実証実験」に参加し、2025年12月、DAISO 大牟田北店（福岡県大牟田市大字甘木2-1）と、DAISO メリーランド武雄店（佐賀県武雄市朝日町甘久 1308）ほか、埼玉県や高知県などを含む5店舗の敷地内に、店舗の自動販売機を経由して情報を提供する「自動販売機搭載型浸水センサ（以下「自販機型浸水センサ」）」を民間企業で初めて導入いたしました。

浸水の危険性が高い店舗を中心に、2026年3月末までに46店舗への導入を予定しています。

「ワンコイン浸水センサ実証実験」は、豪雨などで浸水被害が発生した際、迅速に交通規制、避難情報を発信するための情報をリアルタイムに一元収集することを目的に2022年に国土交通省が開始した実験で、これまでに約230の市町村が河川や電柱、住宅や店舗にセンサを設置しています。実験を通じ、汎用性高く、低コストのセンサを広げることを目指し「ワンコイン浸水センサ」との名称がつけられています。

DAISO 店舗に設置する自販機型浸水センサは、敷地内の最も低い場所に縦17cm、横約5cmほどのスティック型センサを設置し、センサが浸水を感じると店舗の自動販売機にデータが送られ、リアルタイムで国土交通省の浸水センサ表示システムに連携される仕組みです。収集されたデータは同表示システムを通して地域住民へ発信されます。自販機型浸水センサは中央大学研究開発機構、一般財団法人河川情報センター、大塚エルネスベンディング株式会社の協働で設置が進められています。大創産業は、自販機型浸水センサの設置拡大を通じ、店舗周辺の浸水被害を早期に検知することで地域の災害対応に貢献いたします。

### ■自動販売機搭載型浸水センサの仕組み



センサが浸水を感じるとリアルタイムでデータが自動販売機に送られる。



同時に、浸水センサ管理者に通知メールがとび、管理システムで被害状況を確認、地域の浸水被害対策に活用される。

敷地内の最も低い場所にセンサを設置。  
DAISO メリーランド武雄店では  
駐車場入口のフェンスに設置。

## ■株式会社大創産業について

大創産業は「世界中の人々の生活をワンプライスで豊かに変える～感動価格、感動品質～」を社是に掲げ、日本発のグローバル小売業を目指して「DAISO」、「Standard Products」、「THREEPY」を開拓し、生活必需品から趣味嗜好品まで約 53,000 点の商品を取り扱っています。

## ■会社概要

会社名：株式会社大創産業

代表者：代表取締役社長 矢野靖二

所在地：広島県東広島市西条吉行東 1 丁目 4 番 14 号

設立：1977 年 12 月

資本金：27 億円

店舗数：日本を含む世界 26 の国と地域に 5,670 店舗（2025 年 2 月現在）

売上高：6,765 億円 連結 7,242 億円（2024 年 3 月～2025 年 2 月末）

## ■関連リンク

大創産業 DAISO 公式ホームページ <https://www.daiso-sangyo.co.jp/>

【本件に関するお問合せ先】

株式会社大創産業 グローバル広報課 E-mail: grp\_kouhou@daisojapan.com